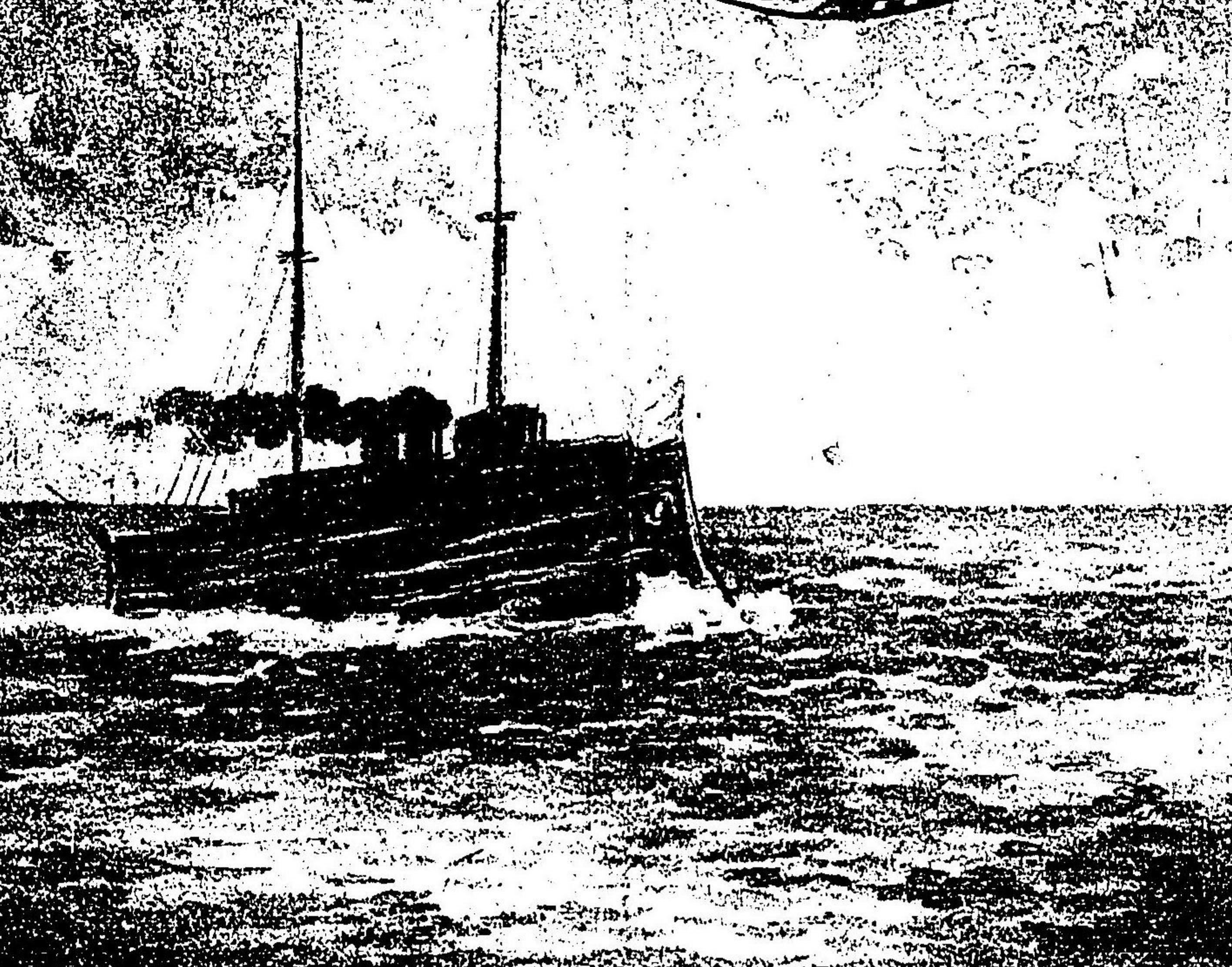
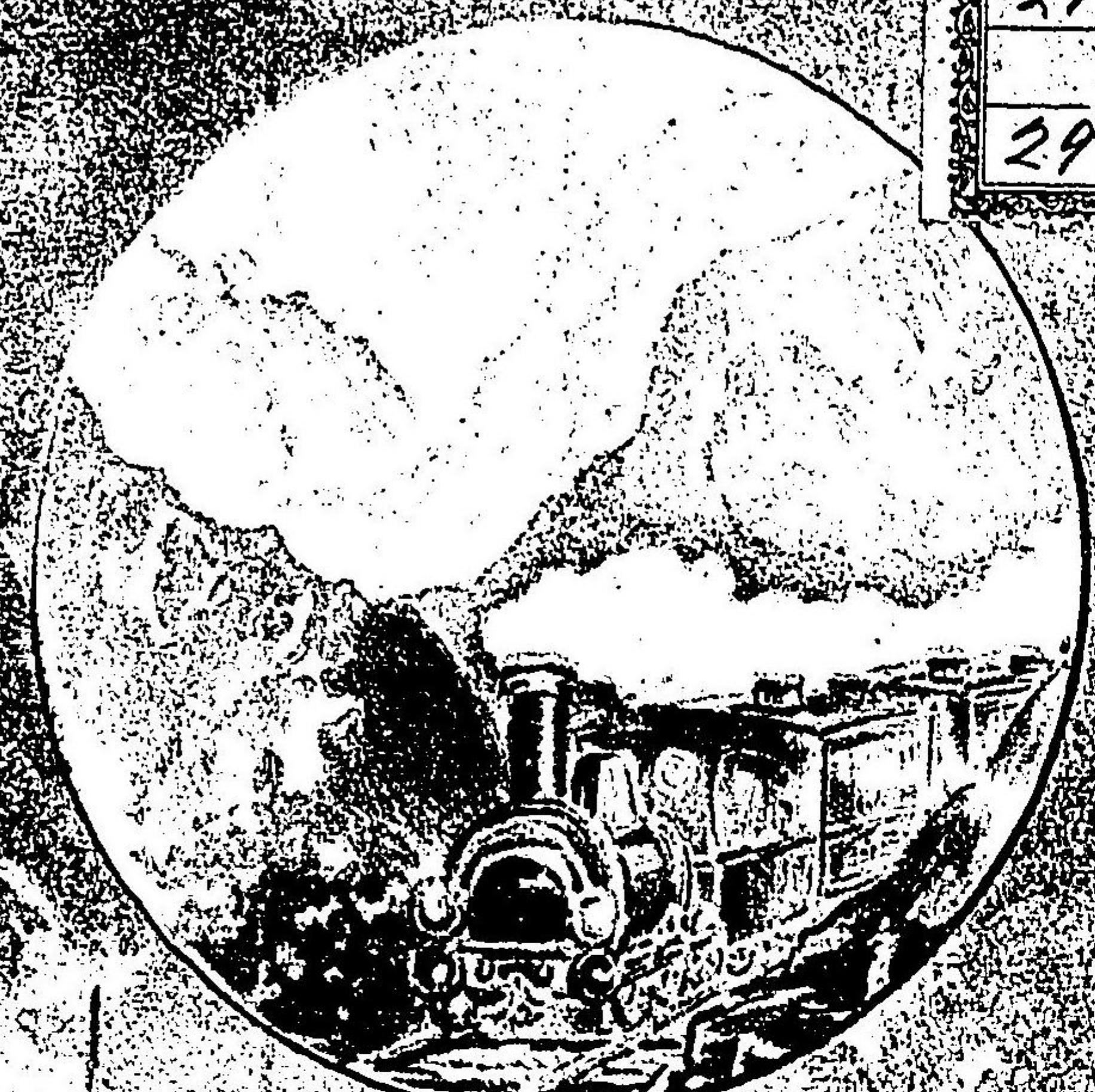


世界一周水滸傳

池
村
麻
底

一
二

三
四



218
290

世界一周唱歌

[と調二拍子]

田村虎藏作曲

6/4 2 1 3. 3 | 6. 6 3. 3 | 1. 1 2. 3 | 2. 0 |

(1) ランチモ サカユル オーミヨ ハ
(2) にほんの うみを ふなでして

3. 3 1. 1 | 2. 2 6. 6 | 3. 1 2. 3 | 1. 0 |

シカイノ ナミモー シヅカナ リ
にしに むかへば しなのくに

5. 5 5. 5 | 3. 4. 3 2. 1 | 2. 2 2. 3 | 2. 0 |

キミト オヤートノ ランクケ テ
あじあの なかーばを たもてご も

3. 3 1. 1 | 2. 2 6. 6 | 3. 1 2. 3 | 1. 0 ||

セカイノ タビヲヤ クワダテ ン
ともううこしの一 あこばかり

大御代は

630 四海の波も静かなり
君と親の恩うけて

日本世界の旅をや企てん
西にむかへば支那の國

亞細亞の半を保てども

吊ふ古史の跡ばかり

明治48年6月30日



棕櫚の花さく新嘉坡

椰子の實みのる錫蘭島

暑き印度を過ぎゆけば

わたるに安き蘇士の海

駱駝嘶く阿良毘亞の

沙漠の月の果もなき

國原こえてゆく先是

文明開化の歐羅巴

テームズドックに船よせて

上れば忽ち倫敦市

人目にうつる議事堂は

立憲政治の世の鏡

六 商工業の繁榮は

立蓋ふ狹霧もつみえず

海をこゆれば白耳義の

アントワープにブリュッセル府

和蘭過ぎてゆきゆけば

帝威かゞやく獨逸國

武人の胄は日月と

共に光をあらそへ

北半島は丁抹

その名は高し陶器

業

瑞典諾威

功はあるし航海

業

驚あしのすむてふウラル山

吹雪ふぶきにつゞく露西亞ロシヤの原はら

大

歐亞オアの境さかに立ち見れば

白波しらなみさあぐ黒くろの海うみ

友ともよびかはす群千鳥ぐんちりょう

つばさはかよふ西東にしぱじ

土ど

バルカン半島はんとう過ぎゆけば

半月細ほんづき土耳其トルコ古國こく

彼ビ得トル帝テの大だ偉偉業ぎょく

流れなまて長ながし利ナリ川川

アセニス城アゼニスは苔カケむして
いなく驢馬ロバの聲こゑ遠とほし

下陸世ニムルヘル井ウ帝逸獨

土ど

老大國のウキンカに

並び合ひたるブタペスト

亞細亞の餘光ダニープの

底にきらめく賴もしさ

はや伊太利に打入れば

昔ゆかしき羅馬城

ダイバー川の淵に瀕に

かはりゆく世ぞあぢきなき

雪は白しアルプス山

水は清しジエネヴァの湖

人の心も打ちとけて

遊びにつどふ瑞西國



四 海を聞

萬葉集

六、大西洋を船出して

五洲に航せし西班牙

テガス河にリスボン港

農工の發達は

共にむかしの忍びぐさ

世界に類ひあらざらん

ビレネー越ゆれば佛蘭西の

九、加奈太鐵道夢の間に

目さへかやく巴里のさと

こゆるも安き落機山

仰げばたかじエッフル塔

波路静けき太平洋

譽れは殘る凱旋門

見つかへらんマルボルン

ボアードの花やセーヌの月

二、皇統一系ふじがねに

シヤンゼリゼーの馬車

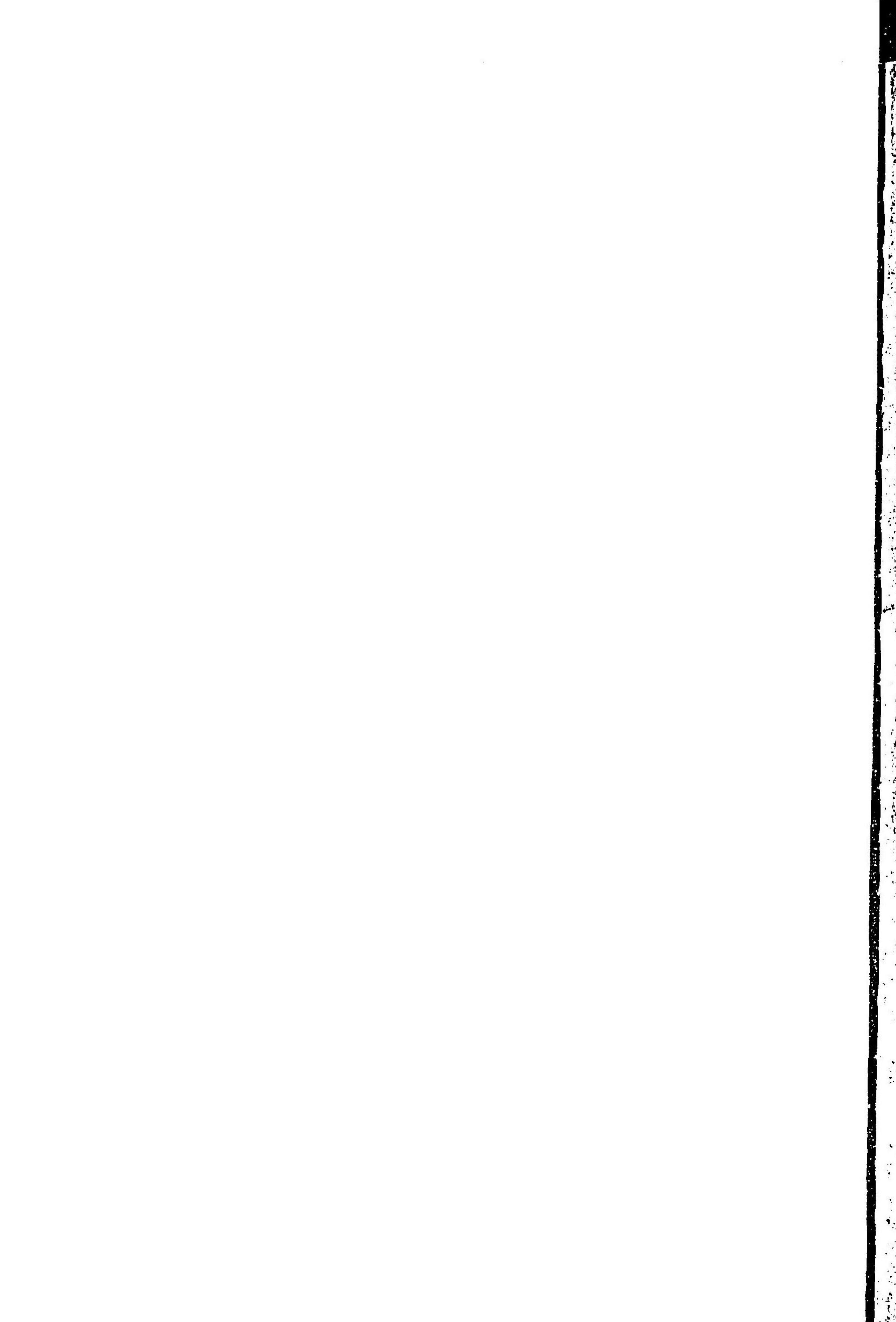
かやき上る日の御はた

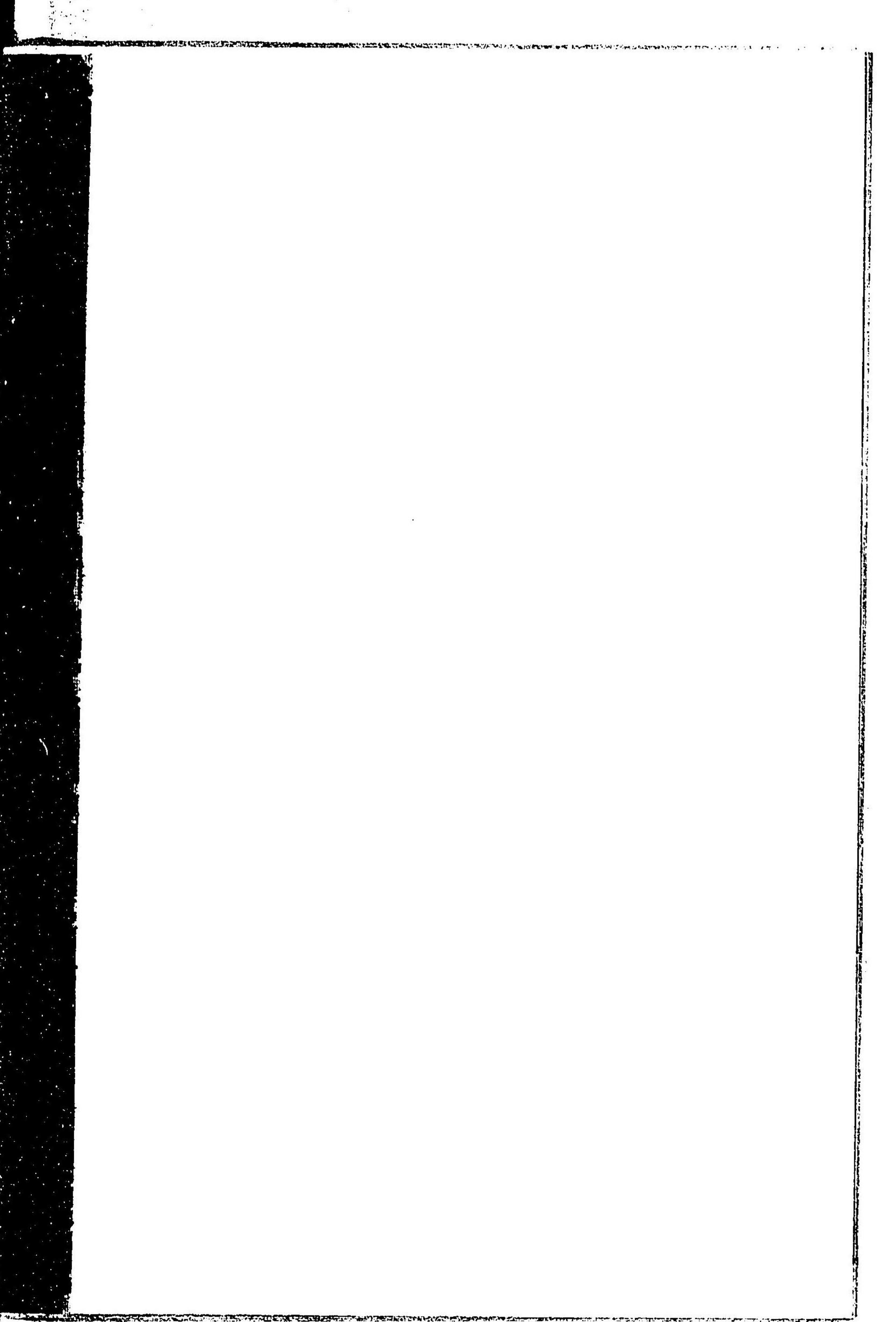
ゆくもかへるも立宿る

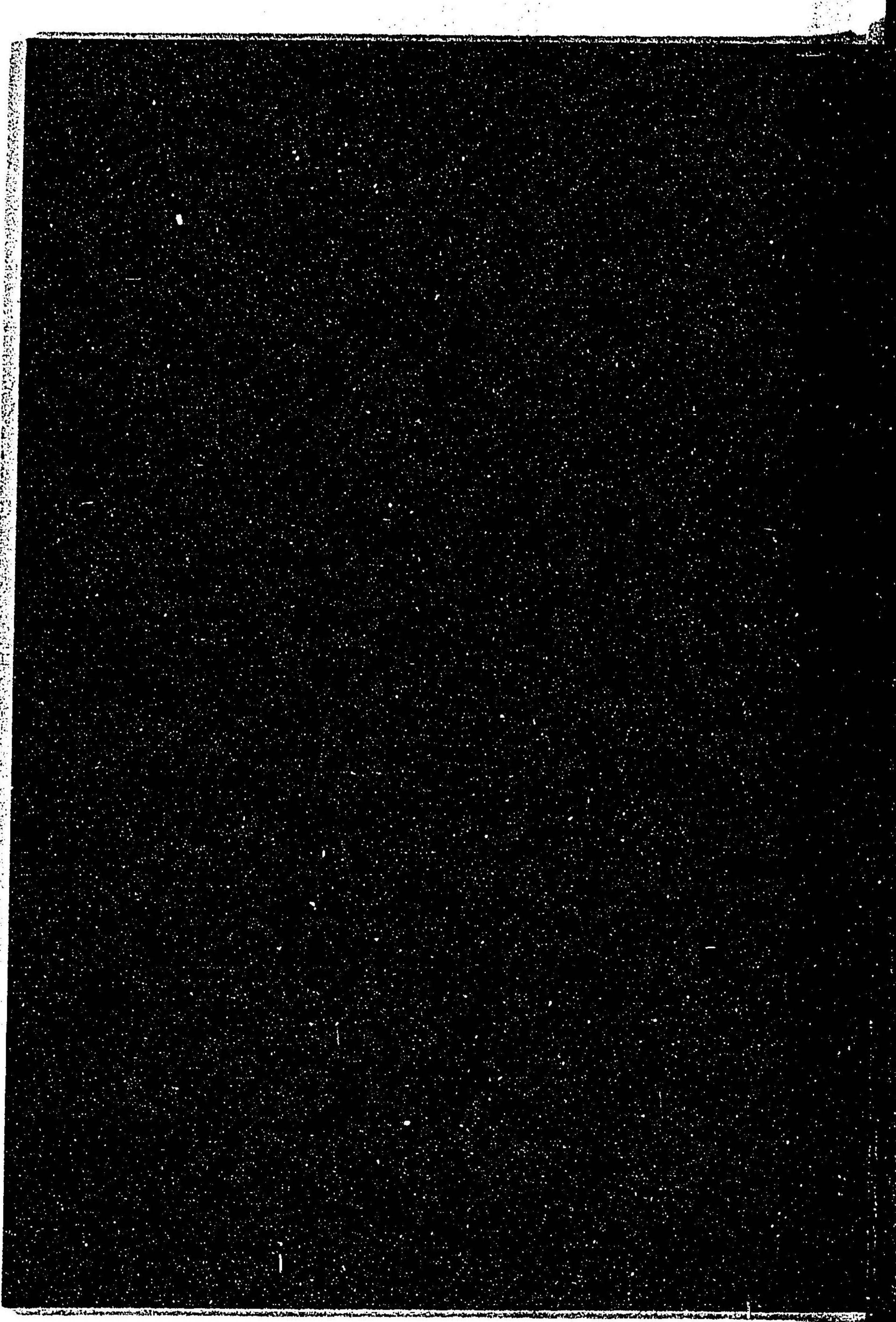
一、ありかざしつゝ大世界

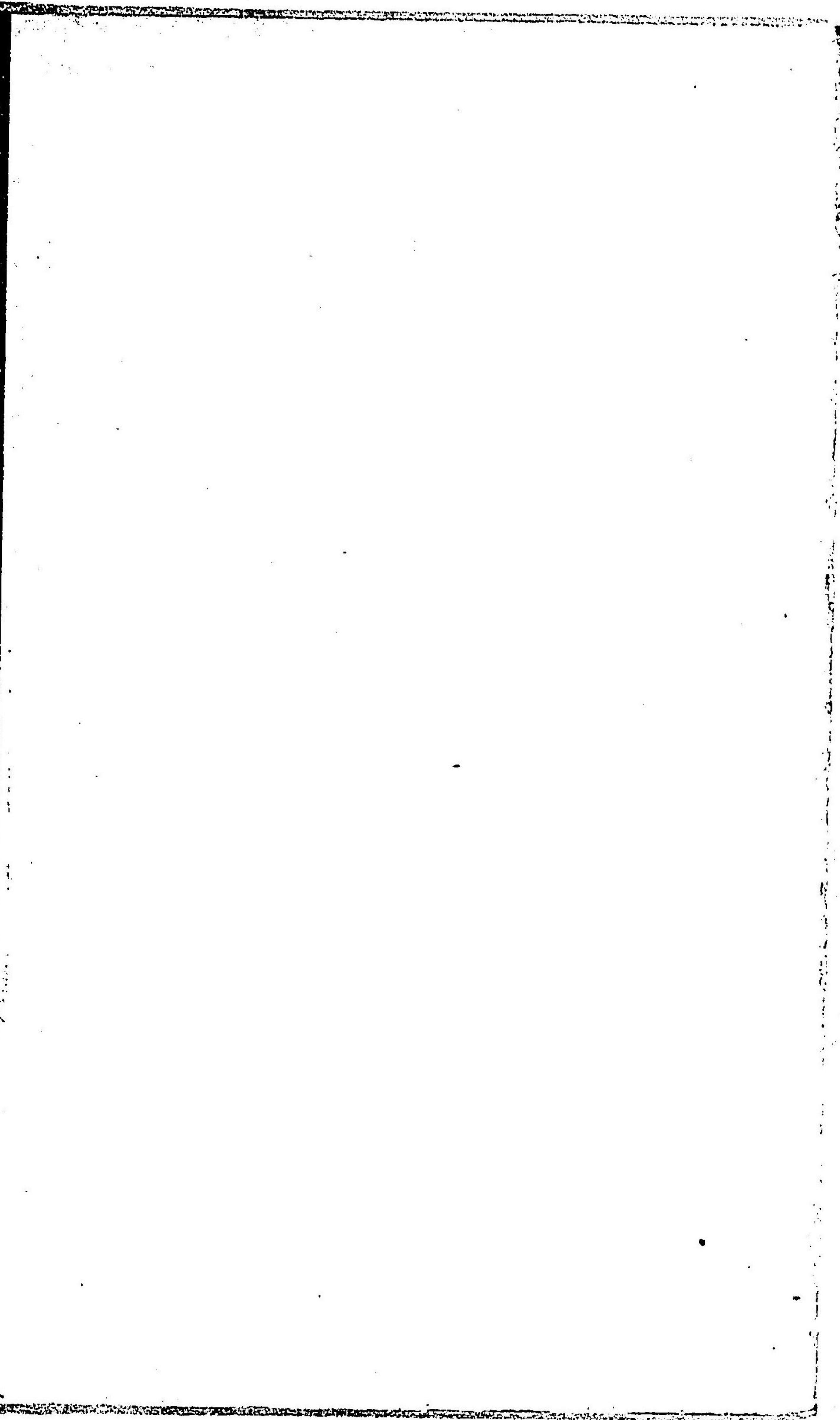
げたや天下の大公園

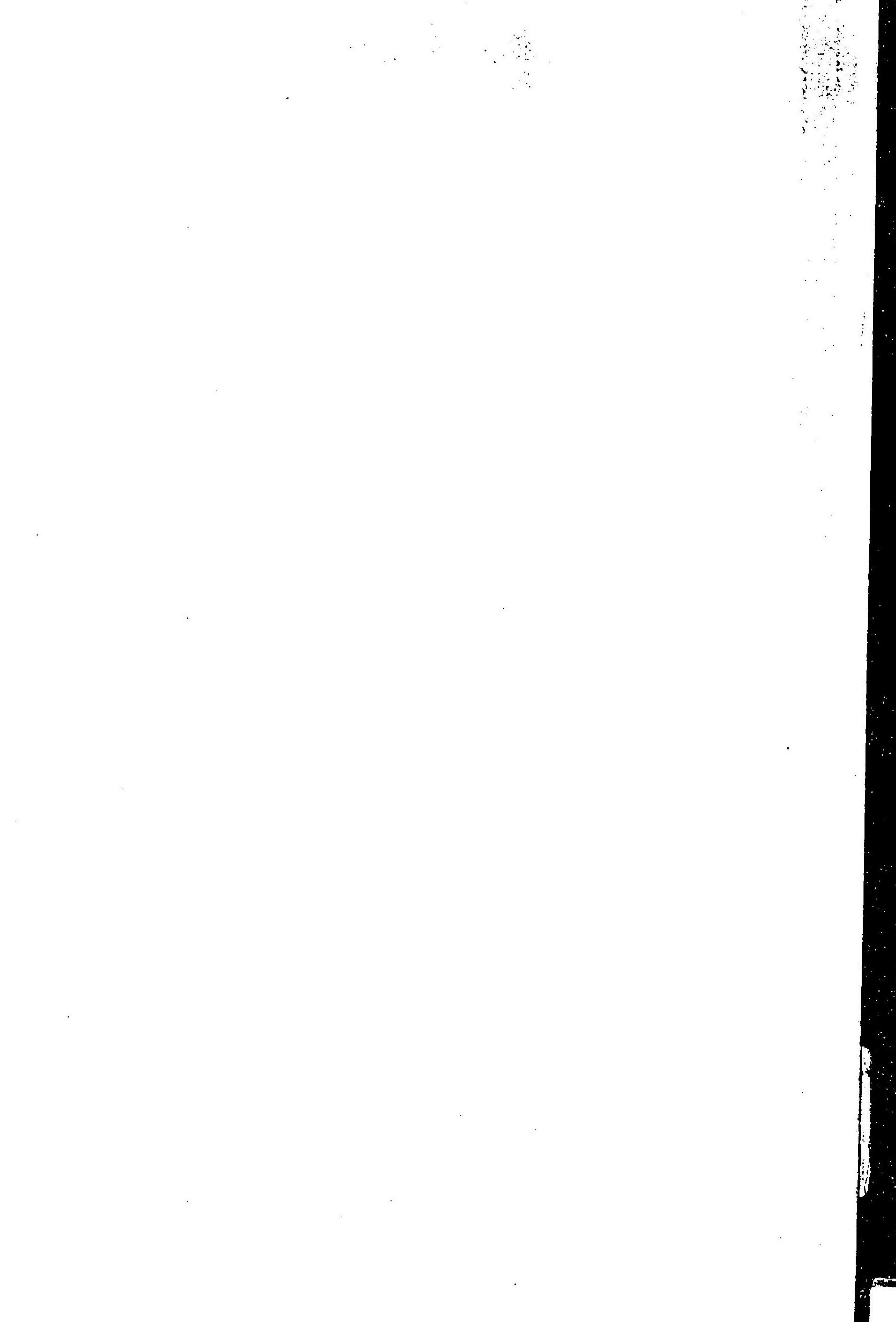
や旅せん際ゆる世











073264-000-8

特48-630

世界一週唱歌

池辺 義象／著

M34

C E H - 0 8 4 2



世界一周唱歌

池澤義家作歌
田村席藏作曲

国立国会図書館

